

刊夕日四月四



定額 一冊五錢 三ヶ月一圓五角 六ヶ月二圓五角 一年四圓五角
廣告料 五錢 十二字 一圓 一圓五角 二圓 三圓 四圓 五圓 六圓 七圓 八圓 九圓 十圓
日曜祭日の翌日休刊
發行所 常盤寺日新聞社
電話 六三〇
印刷所 常盤寺日新聞印刷株式會社

不滅の國

眞繼雲山

淨土門の説教師は、猫の子でも扱ふやうに譯もなく報土ぢや化土ぢやとペラペラと言ふてのけるが、聴いてゐる門外漢にはその報土化土といふ字句の意味からして容易に分らぬ。

報土とか眞如とか法性とか涅槃とかいふ意味がハッキリと分れば、先づ以て解學としての佛敎は卒業したるも同然である、それが分らぬゆゑ皆んな頭をひねつて考へるのである、然らばその報土化土とは何の意味か、佛敎では原因なくして何等の結果もないとする、これを逆にしていへば一切結果は原因の報はれたるものであると説く。

然れば山川大地は何等かの原因に報はれたるものであるから報土であり、人間を初め一切有情は是れ亦た爾かあるべき原因に報はれたる身であるから報身である、この故に一切森羅萬象はすべて是れ報身報土ならぬものはない。然らばその報身報土は、何に源を發し何物から報はれたものであるかといへばそれは法性法身から報はれたものであると説く、序でながら茲で佛とは

覺者の謂ひであることを中言しておかねばならない。

そこで猫も杓子も凡人も森羅萬家一切は報身報土ならぬものはないけれ共、迷ふてゐる故に報身「佛」といふことは出來ない。迷ひから悟りへ轉じた覺者だけを報身佛といふべしである。

更に佛敎では永久不變不滅のものを指して眞實といふ金ムクは眞金佛といひ得るも年處と共に削けるやうな鍍金佛は眞實の金ムク佛といふことは出來ない、丁度そのやうに人間も畜生も報はれたる身であるから、報身たるに相違ないけれ共變易無常の相であり永久性を有しないが故に眞實といふことは出來ない。

この故に眞實ならざるこの地上を化土といひ、その化土に對して永久不變の眞實の世界を報土または報眞土といふそれは永世不變の佛のみます國である。

報土は既に一たび報はれたる世界であるから法界ではない、何に報はれしどといふに、それは阿彌陀佛の誓願に報はれて建設されたる常住恒久の境涯である。その報身に對してこの

娑婆世界は無常變易の假りの世であるゆゑこれを化土といふ、化土に住むものはすべてこれ化身である化身のまゝにして悟りたるが佛陀であり、これを化身佛または應身佛といふ地上にあつては釋尊がそれに當る。

われわれの志願は現世にあつては化身のまゝにして覺見たらんとするにある併し既に化身である以上、何の日に無常を免れず世縁一たび盡くるの後は常住不滅永生の境涯たる報眞土に往生して報身佛たる彌陀如來と同じ覺位に入り、娑婆救済の自在力を得たいといふに在る。

大塚の 學生靴!!!

耐久新製品
編上靴 六〇〇
半靴 五〇〇

不安心なるキカイ靴より、安心得る弊店の靴を……

大塚支店製靴部
電話七七番

旭硝子株式會社製 板ガラス

製造賣販
硝子食器
菓子壺
其他各種

松崎硝子製作所

平町新川端(電話一四二番)
仙臺市榮町 電話五九七番



堂々

斯界の群を抜く

最高級車プロモス號

今般増車致しました
何卒御用命は

電話三九五番へ
セリザワタクシ

平町新川端(釜屋新宅向)

内科 難波 陸
醫學博士
電話五〇二番

開業御披露

過般の火災で弊店も類焼致しましたが一時凌ぎのバラツクが出来ましたので本日より開業する事になりました。何卒火災後の御同情と舊來の御愛顧にて倍舊の御最負御引立の程お願い致します。

尚ほ御出前も迅速に配達致します。

四月一日 平町田町

酒喜屋 電話一七一番

女中數名至急入用

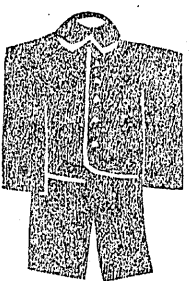
通學服賣出

新學期が近づいてまいりました。坊チャマ・廣チャマの可愛らしい通學服を色々取揃へました。

◇男兒用
小倉服……0.85
同特製……1.70
紺サージ……3.40

◇女兒用
紺セルセラー服……2.60
綿セルセラー服……1.10
防水マント種々取揃へて御座ひます。

ふかや洋服店 電話203



外科

専門線光X

上田外科醫院

平町南町 電話一二九番

●小兒下痢一切小兒腸胃散●

堀藥局 平町二丁目 電話三三六番

月曜言論

新學期の爽かさ

各學校は夫々入學式を舉行し、新入學生は欣然として校門をくぐる。新しい學校、新しい學年、新しい教科書、これでは何か新しいことがやれさうだといふ新學期の心持は、その中に眞實なものを多くもつて居る、だが「學を知る、これ愛の始めなり」と古人がいつた、現代人は學問を餘り知りすぎて憂ひ益々繁くなつた。最も健全な意味での學問教育の進歩は大切であるが、現代の學問界は確かに一つの欠陥の存することを否定する事は出来ぬ、明治以來の教育はたゞ徒らに知識を注入するに偏智教育、知識萬能の主義であつた、遂に今日世は科學萬能、物質第一の時代となり、二に二を加へれば四になるとか、日月天地の運行はかく／＼の數字に依つて割り出すとかいふやうなことを無上の眞理となし科學の外は信おくべき何物もないやうに自惚れて居る往昔、學ばず文字を知らなかつた人々が、その愚かさの中にもつて居た落ちつきと、安心と、満足と潤ひとは現代の人々の中には見る事が出来なくなつた、吾々は此處に現代教育の一大病弊と、思想文化の大欠陥を見る、故に先づ學ぶ者は、學術の眞の意義に徹し、又その力を發揮して、是

充分に使ひこす人格を基礎付けるのでなければ、新學期のさはやかさを永遠の人生に持續し得ざる事を、よく知らなければならぬ

愛谷江

完成祝賀

工費二十七萬圓 三ヶ年の大工事

石城郡好間、小川、神谷の三村を貫流灌漑する愛谷江筋改修工事は工費廿七萬圓を投じ三ヶ年の日数を以つて愈々此程竣工したので同水利組合では来る廿日是其祝賀式を好間村地内江筋にて行ふ筈

擔任教諭

平商決定

平商業學校にては本日午前九時より講堂に於て始業式舉行終つて新學期に付ての職員會を開いた尙本年度の各級受持教諭は左の如く決定された

- △一年(甲組)下山田勤 (乙組)室原重幸 △二年(甲組)中村政(乙組)新田繁 △三年(甲組)武山信夫 (乙組)泉田亮 △四年大澤勝吉 △五年宮澤勝三

小學校庭

破壊改修

石城郡好間村消防組では一

好間村忠魂祭

石城郡好間村役場では在郷軍人分會と協力して七日午前十一時より郷社熊野神社境内に於いて忠魂祭を行ふ筈

圍道路の破壊改修工事の件△同村第二部地内に防火貯水池三ヶ所設置の件△同村上好間町田方部に防火貯水池三ヶ設置の件 尙は来る十五日舉行される聯合春期檢閲への豫行訓練を來る十日午前九時より磐城中學校庭に行ふ事となつた

自動車協會總會

平支部員準備に忙殺

既報來る十九日花の平町に開催される第四回福島縣自動車協會總會に就いては平地元支部員が準備に忙殺されて居るが當日は縣下協會員三百五十名が出席する豫定であつて午前九時より平第三小學校にて總會を開き諸般の協議をなし終つて午後二時から同五時からの二回に亘る懇親會を催すが縣よりは仲里警察部長が臨席する筈

夏井村忠魂祭

石城郡夏井村在郷軍人分會では去る三日午前十時より村社住吉神社境内で忠魂祭を舉行正午よりは會員の柔剣道試合を行つた

恰も……

大震災の觀

上海西方最前線にて 豫備歩兵上等兵 瑞 正勝 皆さんより御熱誠なる御見送りを受け水戸二聯隊に入隊、其の翌日武裝軍裝私等常州健兒

全然敵情の暗い私等は決してこの様な静かな上陸は豫期しなかつた、恐らく敵の砲火、銃火を雨と浴びつゝ所謂敵前上陸を敢行するの覺悟して各中隊は眩梯下降の演習を幾度か行つて居つた、然るに事實は豫期に反して全く以上の通りであつた

平町人事

- △下川原一五 鈴木榮太郎 氏三男良伸 △久保町廿三 當時茨城縣多賀郡坂上村字水木伊藤勇吉氏長女常子 回 婚 姻 △南町六四 菅野常助氏 (二八)南村六四 愛澤操 (二八) 回 死 亡 △搔樋小路一 鈴木節子 (二三) △搔樋小路一二 小松玉子 (二八) △久保町四三 古田部七之助(七八) △二丁目三 當時石城郡内郷村字宮酒井覺藏(四五)

○地点に至り初めて敵地に入り自然に身の引しまるのを感じました。暫く黄浦江に沿って柳の並木を走ると上海鐵道線路に至り之れに沿ふて北上する事三十分上海に至りました。初めて見る國際都市の如何に華かなる事と、かくて胸をとろろかし見れば

租界内は 格別として租界外は慘憺燒土と化し實に宛も東京の大震災を髮沸させます。燒残りたる家屋にも道路にも要所にも殆んど土囊の推積を見ざるなく陸戦隊の目くぼみて立つを見、鐵條網は要所／＼に張られ、如何に激戦なりしか

強豪軍閥を以て誇る十九路軍の心膽を見事にたゞさつた爆彈三勇士の戦死跡を江灣鎮にせむろに偲びました。上海西方六里○○地点にて一週徹夜守備四日目に大陸の特有のカーンボイ病魔に襲はれ、南京袋にクルマツテ寢翌朝元氣旺盛便衣隊の出没を見る

所屬地に 入りましたこゝに一番不便困難を感じしは井戸水にて倒る所殆んど泥水にて洗面後の炊事水には全くの苦心慰道の爲薪の供給を受け得ざりし中隊の困難如何せん十九日は最前線に來り強固な塹壕構築

一同元氣 旺盛に自己の責任を完ふして居ります

昨日は第五分隊では衛兵の命を受け自分は衛兵司令として勤務、舊十五日には異國の空に眞ん丸として輝き前方の森林より支那犬盛んに吠え心は頓に緊張し昨夜の如きは

敵の一師 動きつゝありとの誇大した情報にて斥候は出るやら塹壕の位置につくやらいらく緊張致しました。所々に歩哨の發砲する銃聲聞きました。自分は御守りの豆をかみつゝ八名を指揮して分隊の位置につきぬ(三月二十二日夜)

株式 百澤商店 第六期決算報告 貸借對照表

借方ノ部	貸方ノ部
金銀 勘定 四三、四	當座 預金 九三、七
振替 貯金 八四、三	得意先 勘定 一〇、三
商品 勘定 一五、五	所有々價證券 三、八
諸貸付金 勘定 一、四	土地 建物 三、五
假借金 勘定 八、九	仕入 先 勘定 二、七
臨時 建築 費 一、五	仕入 切手 三、二
預り 保証金 一、〇	商品 切手 一、〇
時價 入金 一、〇	假借 入金 一、〇
店員 一般 預金 三、三	資本金 勘定 一、〇
法定 積立金 一、〇	前期 繰越金 一、〇
諸 積立金 一、〇	当期 利益金 一、〇
合 計 一、〇	右ノ通り候也
追而取締役及監査役任期満了ニ付改選ノ結果取締役ニ百澤易興、百澤才八郎、鈴木豊次、監査役ニ殿木松造、小川福作何レモ再選重任ス	

昭和産業博

押すなくの大盛況

上海事變に勇戦した

甲式戦闘機出陣さる

各會場の呼び物

開會と同時に観覧者相次ぎ昨日の如きは好晴の旗日に恵まれて押すなくの盛況を呈した昭和産業博覽會では尙一層の

内容を充實すべく種々

計画中であるが本日茨城縣霞ヶ浦海軍航空隊より今回の上海事變に出動勇戦した機體に數十ヶ所の弾痕を有する甲式戦闘機を出品する旨の通知に接し同會事務所より是が受取りの爲めトランプを出發せしめたが尙海軍省でも艦内事情の

参考として山口縣徳

山の海軍製炭所より軍艦の燃料練炭を出品する外餘興場のシバタサーカス一行も六日より第三會場に出場するので愈々人氣を沸騰せしむるであらうと因に各會場の呼び物左記の如くである

に供す。陸海軍省より出陣に係る滿洲上海各戰闘の實況模寫、占領品新式武器毒ガス状況等。簡易保険局は第三會場に於てパレー活動寫眞を毎日映寫。仙臺放送局の放送塔よりは連日連夜各種の放送あり。電氣仕掛のロボットは各種の動作に依つて愛嬌を振りまく。第三會場の新式採炭機械コイルカッター

就職運動を依頼し 泊り込んで盗む

無銭飲食男の餘罪

石城郡三坂村大字下三坂字坂下生れの佐藤吉松(五九)は昨夜九時頃平町大工町某飲食店にて一圓六十錢餘の無銭飲食をなし平署に檢舉されたが同人は本月一日知合である内郷村宇町田佐藤春治方を尋ね坑夫の就職方を依頼して泊り込み翌日家人の留守中衣類四時時計等時價十五圓餘を窃取逃走せる旨自白したと

団体 入場待遇 夫々割引

昭和産業博覽會では此程幹部會を開き左の諸項を協議した

備の件△町議並役場吏員各二名宛連日場内監督に當る件△婦人看守の増員△團體入場者の待遇として五十名以上一割引、百名以上一割五分引、五百名以上二割引、千名以上二割五分引、外中等學校青年團の團體入場は十錢、小學校團體は五錢

平第一送別會

平第一小學校にては本日午前八時より今回轉任を命ぜられたる志賀遠平、中野監治兩氏の送別式を行つたが兩氏は明日午前八時平發にて志賀氏は湯本へ中野氏は草野へそれへ赴任すると

崖くずれ 女土工惨死

石城郡内郷村大字宮宇平太郎四二寅吉の妻日雇業鈴木サト(四八)は本日午前七時頃同村蛭子地内に土運び作業に従事中突然崖崩れあり頭から土砂を冠つて埋没慘死したと

火防督勵後 觀櫻會開催

平町北防組合では本月中旬頃區内全戸に亘つて火防の督勵を行ひ終了後慰安の爲め觀櫻會を開くと

振舞酒を 呑たさに

石城郡好間村大字上好間字上野六十二番地上野彌三郎

明日のラジオ

今晩も明日、南西の風晴れたり曇つたり

- ### 今晚の部
- 後六、〇〇 子供の時間
 - お話「ガリレオ」奈良女子高等師範學校教授西本三十二
 - 後六、三〇 趣味講座「櫻の話」林學博士田村剛
 - 後八、〇〇 落語「花見の仇討」三遊亭圓生
 - 後八、三〇 獨唱とピアノ
 - 獨奏 獨唱 宮川美子
 - ピアノ 伴奏 バウルローゼン シュタント
- ### 明日の部
- 後九、〇〇 長唄 吉野夫人
 - 後九、三〇 奉天より
 - 後九、四〇 全國ニエース 氣象通報 番組豫告

俄大盡 夢の卅圓

平町白銀町水野石炭店の雇人茨城縣那珂郡神崎村生れ赤津竹雄(三九)は昨日朝賣留金三十圓を見て急に遊心弗々となり其金を盗で鎌田遊廓に至り某樓に上り俄大盡を極め込んだが所持金を使ひ果すと急に主人に申譯なくなり兩ひ主家へ立歸つた處を平署員に御用と捕る

消防聯合檢閲 期日を繰上ぐ

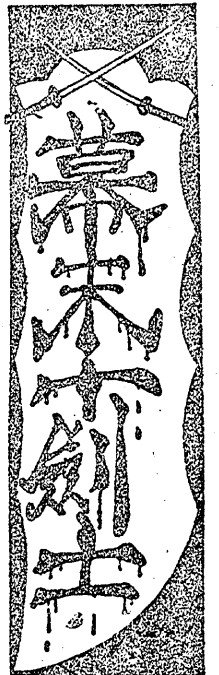
平署管内春期消防檢閲は来る十七日磐城中學校グラウンドにて執行される筈であつたが都合に依り期日繰上られ十五日午前九時より同

- 後〇、〇五 映畫物語「血染の鐵槌」近江錦堂
- 後二、一〇 運動競技「六每主催、中等學校野球大會」甲子園より中繼
- 後六、〇〇 子供の時間
- 管絃樂 東高ラヂオオーケストラ
- 後六、三〇 講演「ムツンリーニと伊太利の新教育制度」高橋泰
- 後七、三〇 講演「皇國の徵兵制度と徵兵檢査に就て」仙臺聯隊區司令官陸軍歩兵大佐土居稻生
- 後八、〇〇 講演 花七夜 第五夜
- 後八、三〇 浪花をどり
- 「踊るカレンダ」新町廓藝妓連中
- 後九、三〇 奉天より

- ### 求職の部
- △農夫 四十以下、委細面談(小川村某)
 - △給仕 十五六才、高卒、月十圓(平町某學校)
 - △求職の部
 - △小役員 十七才、高卒、給料面談(双葉郡浪江町某)
 - △電工見習 十五才、高卒、給料面談(石川郡某)
 - △土工夫 廿才、中學二修、給料面談(平町某)
 - △雜夫 廿七才、高一修、給料面談(茨城縣某)

看護婦急派の求めに應じます

平町南町 平看護婦會 電話三〇七番



〔禁轉載上演及映畫〕

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

〔第十八席〕 神影流の達人秋山要介

杉山試合を申込
家根屋の留公は秋山要介に對し

留『どうぞ先生弟子にしておくんなさい』
要『門人となつて武藝を學びたいと申すなら教へても遺はすが貴様は杉山に就て今まで稽古をいたし居つた者だ、先方に無断にて門人にいたす事はならぬ、杉山より破門狀を貰つて參れば弟子にして遺はす』

留『成程はもん狀といふは何の事でございます』
要『師弟の縁を切つた證書である』
留『へ、成程、弟子師匠の離縁狀でございますね、それではそいつを持つて又此方へ上ります』
留『云々』
留公は其日杉山の道場に來て稽古が終つた後、



杉『イヤ破門をするのは輕からざる事だ、なんでそんな物が入用か』
留『それはなんでござんす親父から劍術や柔術を習ふ事に就て苦情がたまつて職人がそんなものを稽古した處でなんの役にも立たねえ今日限り道場に足踏みをす

留『ア、そんな事を聞きませんでした』
杉『何だ、離縁狀とは』
留『弟子師匠の縁を切つたといふ證書を頂きます』
杉『エ、それは破門狀であらう』

杉『破門狀を出すは重い事である』
留『へ、重い事でございますかえ、證書といふからには紙へ書いた物でござんせうシテみれば重いものではあります』

るなど懲う云はれましてそこで破門狀を頂く事にいたしました』
杉『左様か、然らば望みに任せ破門狀を遺はすであらう』
留『書いて渡した留有難い事だ、デハ先生長いこと御厄介になりましたが、一と先づ退散いたします、然し御恩を受けた事は忘れません』
大暴風雨でもあつて家根がめくれた時はわづらひが來て締みます、其他火事があるとか、大地震があつたとか御新造が急病で歿するやうな事がございましたら直に断付けます』

段々影が薄くなつて來た、どうした事かとそれとなくその原因を調べると秋山要介の許に入門したとの事武士たる者が退治たればと豊にはなるまい、彼にどれほどの術があるか試合を申込み俺の手の内を示して彼に目に物見せてくれようとは秋山の道場へ出て來た、竹刀の音が劇しく聞える玄關へ立つて案内を乞ふ、此方は秋山要介門人に教へてゐたが、
要『なんぞ治助』
治『偉い事になりました』
要『善養寺町の杉山五郎兵衛先生が見えましてございませう、弟子を取られたに就て貴下に喧嘩を賣るつもりで來たものでございませう』

る、お手軟くおあしらい下さい』
要『それは當方より申す事でございます、茲で二人が支度して木劍を取つて道場の中央に出た、門人はこの勝負どうなる事かと固唾を呑んで見てゐる、二人はヤツと云つたが、互ひに青眼に取つてデキ／＼と詰寄る杉山五郎兵衛も一流の指南をする者さすれば腕は出來てゐる、出來るゆゑ強弱も能く判ります、暫らく隙を窺つてゐたがエイツと秋山が掛ける氣合に全身は痺れるやうポロリと木劍を落した五郎兵衛が
杉『參つた恐れ入りました』と申した。

見習生募集

十四才より十六才迄

高橋時計店

精幸堂 號

委細面談
平町橋通小路
(キクチ自動車店向)

遠近 自宅筆生募集

前金保證金等絶對不用實費郵券九錢封入御申込み次第即日より就業の材料内容一切送る
東京神田
通神保町三
星鳳社出版部

阿康藥舖

特約一
手販賣
平町古鍛冶町一〇
縣社ノ下(電話四四番)

りん病
こしけ 永らく悩む人の福音
天下の名湯別府温泉で出來た無効返金責任藥
全國知名新聞 朝日、東京日々、大阪毎日、富士、雑誌 推獎 講談俱樂部、主婦之友廣告御參照
右は岩里家古來よりの家傳秘法藥にして男女血らし慢性淋病、こしけ、濁病の病みは不思議に止り連服するも絶對胃腸傷害なき各業であります。
尙ほ此の藥は責任速効藥で二日以内服して効なき時は殘藥引換に全部異議なく返金します。
論より證據服藥した人は皆全快喜んで居ります。慢性、悪性の人は七日以上服差して下さい。
美本淋病治療書無代進呈、此の新聞各記入申込者に付前金申込者には送料無料、新品送藥す。
代金引換廿三錢手数料金納の事。

藥價
急性用(黒箱) 一週分 參圓
慢性用(赤箱) 一週分 五圓

◎期 日 來る二十四日 午前九時
◎場 所 昭和産業博覽會第一會場

郡下模型飛行機競技大會

◎參加資格何人を問はず參加券不用
◎尙其詳細は主催店へ御問合せを願ふ

主催 平町

後援

いづみや玩具店
常磐毎日新聞社
昭和産業博覽會
アイヤモンド東京研究會
望飛行機